

津田左右吉物語

第24回

左右吉をとりまく人々

(秋艸道人—会津八一文学博士・早稲田大学名誉教授)

下米田小学校津田

文庫の蔵書に『自註

鹿鳴集』(新潮社

版・会津八一著・昭

和27年刊)という図

書があります。この

本の内表紙には、

「津田左右吉先生批

正、会津八一」と記

されています。八一

自身が左右吉に、自

著の刊行のとき贈ったものです。なお、『鹿鳴集』

(創元社版・会津八一著・昭和15年刊)という同

名の図書も並べて置かれています。これも前

図書と同じく左右吉に贈られたものです。前図

書のもとになっているのが15年刊行本です。27

年刊行本は自注が付けてあるので、作品の作ら

れた経緯がよくわかります。津田文庫の図書の

中にある、八一から贈られたこれらの図書は、

大変貴重なものばかりで

す。

会津八一(明治14年生、

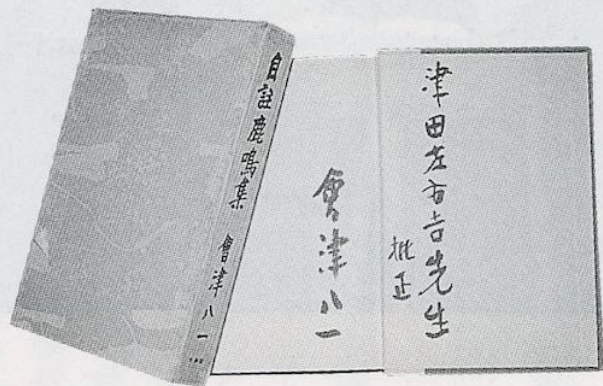
昭和31年没)とはどんな

人物であったのでしょうか。

次回、その生涯のあ

らましをたどってみま

す。



▲『自註鹿鳴集』